

一丸となつて ライオンズの 未来を 確かなものに



歴代の国際会長は、成長こそがライオンズの奉仕の未来を強力なものにすることを理解し、その呼びかけに応えてきました。彼らがどのように成長という使命を牽引しているかをご紹介します。

ミッション1.5 は、私たちのクラブと奉仕を成長させ、これまで以上に多くの人々に奉仕できるようにする取り組みです。



MISSION 1.5



ファブリシオ・オリベイラ (2024-25) は、成長には注力、規律、そして結果に対する責任を要することを理解しています。実業家そしてグローバルリーダーとして彼は、ライオンズに対し、クラブを強化し、新会員を加え、LCIFを最大限に活用するよう呼びかけています。なぜなら、会員数を増やすことが、奉仕を拡大し、信頼性を強固なものとし、世界中の地域社会において測定可能な成果をもたらす方法だからです。



パティ・ヒル (2023-24) は、若者が自らのアイデアを形にする未来を私たちの組織の中に見いだせるよう、彼らを鼓舞し、力を与えることをライオンズに呼びかけています。新レオクラブの設立者そして顧問としてヒル元会長は、奉仕を前進させる活力とビジョンを持つ若手リーダーを応援するよう、クラブに奨励しています。



ブライアン L. シーハン (2022-23) は、私たちの体験談を伝えていくことが、人の心を開き、ライオンズ入会への気持ちを起こさせる強力な方法だと確信しています。彼は、メイヨー・クリニック、ネットいじめ防止イニシアチブ、そしてライオンズクエストと連携する地域のPTOとのパートナーシップを通じて新規クラブを結成することにより、成長を推進しています。



ダグラス X. アレキサンダー (2021-22) は、ライオンズの使命を共有することで会員が増えると信じており、それを行う機会を決して逃しません。その情熱的な働きかけは、全国で無数の人にライオンズ入会を鼓舞し、その多くの入会にアレキサンダー元会長が直接携わりました。



ジュンヨル・チョイ (2019-21) は、特に韓国全土において、新会員勧誘と新クラブ結成の両方を通じた成長を推進しています。彼は、成長が文化に即したものであり、地域主導で行われれば、地域からの信頼が深まり、私たちの奉仕の届く範囲が飛躍的に広がることを示しています。



グドラン・イングバドター (2018-19) は、包摂的な成長こそが、より優れた奉仕と強力なグローバルブランドを築くと考えており、世界中で会員拡大を行い、新たな会員を迎え入れることで、多様性、認知度、成長が相まって私たちの使命を前進させると断言しています。

LIONSCLUBS.ORG/MISSIONTOGROW



MISSION1.5



ナレシュ・アガワル (2017-18) は、ライオンズがどのような団体であり、その奉仕活動を広げるためになぜ会員増加が重要なのかを地域社会に伝えることに力を注いでおり、ライブプレゼンテーションを通じて、認知度向上と新会員獲得に貢献しています。



山田寛紘 (2015-16) は、文化と地域社会を尊重することで成長を遂げることができるかと確信しています。彼は日本におけるライオンズの拡大に注力することで、文化に根差した働きかけがクラブの強化、より深い活動参加、そして持続可能な会員増加につながることを示しています。



ジョセフ (ジョー)・プレストン (2014-15) は、力強く健全なクラブが成長の要であると信じています。自ら所属クラブの拡大に取り組むとともに、セミナーやウェビナーを通じて戦略を共有することで、各クラブが再建し、活力を取り戻し、会員勧誘への決意を新たにできるよう支援しています。



バリー J. パーマー (2013-14) は、地域社会全体におけるライオンズの存在感と認知度を高めるため、心を引き付けるマーケティングを推し進めています。地域のクラブを結集してライオンズの活動を積極的に宣伝することで、ライオンズの会員であることの素晴らしさをより多くの人々に知ってもらうことに貢献しています。



ウィンクン・タム (2011-12) は、指導力育成を、持続的な成長と長期的な奉仕への道として重視しており、ライオンズが使命を共有し、新会員を迎え入れ、奉仕を拡大するために必要な知識やスキルを養い自信をつけられるよう指導しています。



アル・ブランデル (2008-09) は、国連における重要な任務を通じて、グローバルな舞台でライオンズの声を広めています。彼は私たちの奉仕の成果を常に発信することで、より広い認識を促すと同時に、ライオンズに入ってその使命達成の一翼を担いたいという意欲を将来の会員に起こさせています。

LIONSCLUBS.ORG/MISSIONTOGROW



MISSION 1.5



マヘンドラ・アマラスリヤ (2007-08) は、新会員一人ひとりが私たちの奉仕能力を大きく広げると信じています。彼の成長への焦点は、新クラブ結成と強固な会員基盤構築が、より大きな人道支援に直接結び付くことを強調するものです。



クレメント F. クジアク (2004-05) は、クラブが多様な地域社会に効果的に働きかけ、奉仕に引き込むのに役立つ実用的で包括的なリソースを作っています。彼は、スペイン語を話す会員から成るクラブ支部結成に重要な役割を果たし、さらに多くの人々に奉仕を届ける機会を広げました。



カジット・ハバナナンダ (1998-99) は、新クラブの結成こそがライオンズを力強く、将来に備えた組織に保つうえで重要であると信じています。彼のリーダーシップは、新しいクラブと新しい会員が、グローバルな存在感と長期的な影響力を高めるために不可欠であるという信念を反映しています。



ブライアン・スティーブンソン (1987-88) は、シンプルながらパワーのあるモットー「いつでも誘いの声をかける」を実践しています。彼は、奉仕精神に富んだすべての人がライオンズのメンバーになる機会を与えられるべきだと考えており、自ら誘いの声をかけ続けています。





「世界は変わり、私たちが奉仕する人々のニーズも変化しています。それに応えるためには、より多くのライオンが必要です。そして、それはあなたから始まります」

2025～26年度国際会長 A.P. シン